

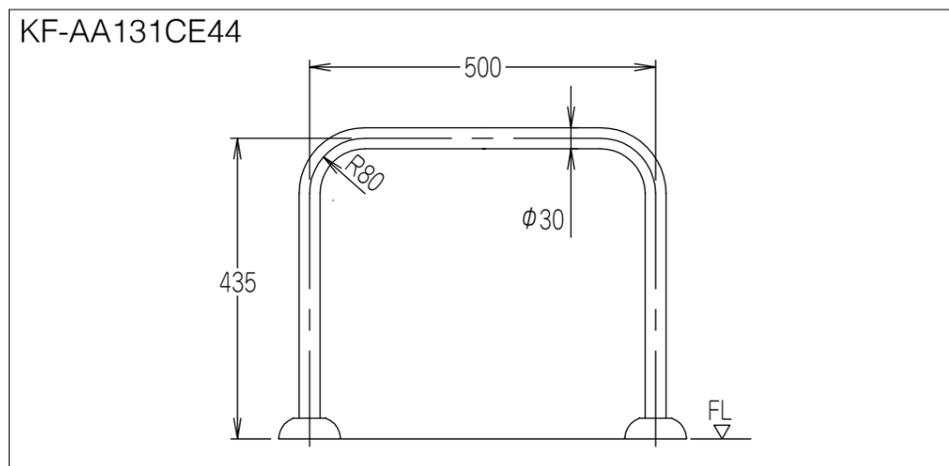
幼児用手すり

KF-AA131CE44
KF-AA131CEP44
KF-AA910CE40

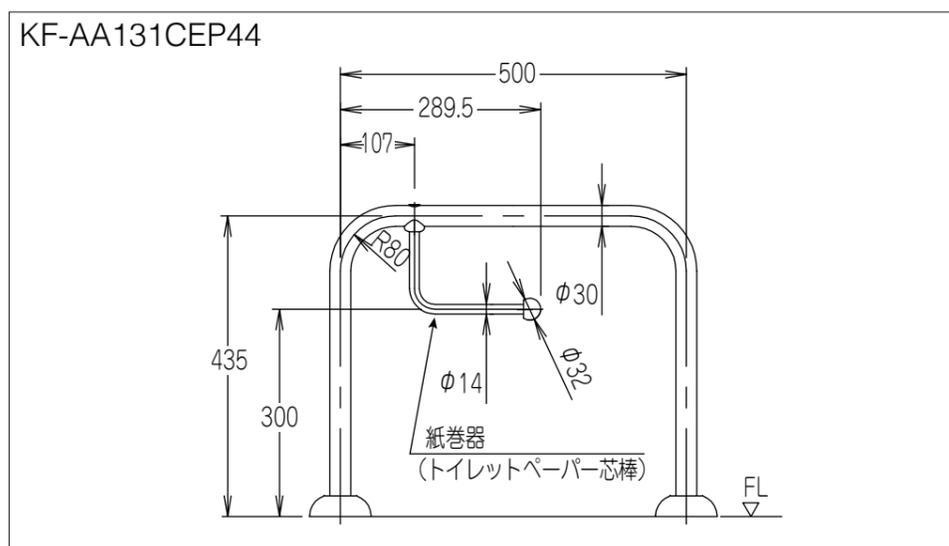
商品の機能が100%発揮されるよう、
本説明書の内容を十分ご理解のうえ
正しく施工してください。
なお施工完了後、この施工説明書をお客さまにお渡しください。

●商品図

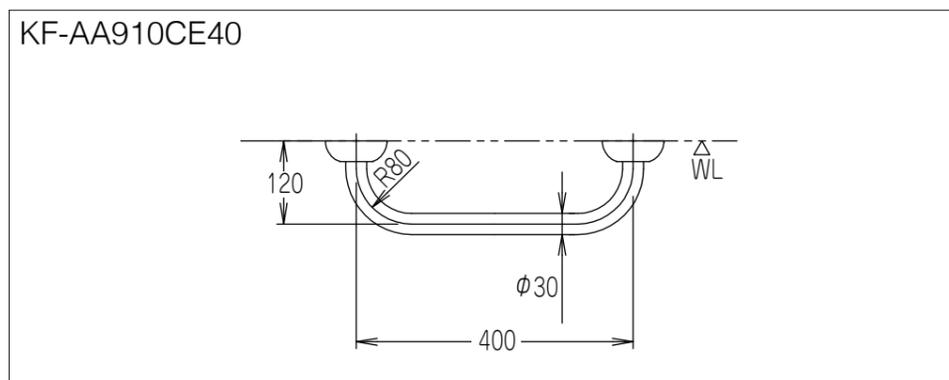
幼児用大便器手すり



幼児用大便器手すり（紙巻器付）



幼児用多用途手すり（I型）



●安全上のご注意

- 施工前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- ここに示した注意事項は、状況によって重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 施工後はお客さまにご使用方法を十分にご説明ください。ご使用方法は、取扱説明書：「●ご使用上の注意/幼児用手すり」に記載されていますので必ずお渡しください。
- この施工説明書はお客さまに保管頂くよう依頼してください。

用語および記号の説明

注意 …… 「取扱いを誤った場合に使用者が軽傷を負うか又は物的損害のみが発生する危険な状態が生じることが想定されます。」

⚠ …… 「注意しなさい！」（上記の「注意」と併用して注意をうながす記号です。必ずお読みになり、記載事項をお守りください。）

❗ 指示実行 …… 「指示通りにしなさい！」（一般的な行動指示記号です。）

⚠ 注意

必ず施工説明書の指示どおりに施工してください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	❗ 指示実行
建築構造に合った施工方法により、外れたり、ガタが生じないように強固に取り付けてください。 ※誤った施工方法をされた場合、器具が外れ、ケガをする恐れがあります。	❗ 指示実行
屋外や浴室など、水がかかったり湿気の多い場所には設置しないでください。 ※部品の腐食、変質などにより手すりが折れやすくなりケガをする恐れがあります。	❗ 指示実行
手すりの近くで、幼児の身長より低い位置には、化粧棚などの壁から突き出た商品を取り付けしないでください。 ※手すりとの間に身体を挟んだり、ぶつかりたりしてケガをする恐れがあります。	❗ 指示実行
施工時に、硬いものをぶつけたり、強い衝撃をあたえたりしないでください。 ※商品が傷ついたり、破損して、ケガをする恐れがあります。	❗ 指示実行

落下事故防止のため、取付部材や壁面の構造等について以下の取付条件を守り、後述の「●固定方法」に従って、固定してください。

〔乾式壁の場合〕

- 石こうボード等のボード張りには、木ねじはききません。必ずあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、ねじ込み深さを確保してください。
- 取付木（補強木）は柱または間柱に固定してください。
- ボード張りの厚さは12mm以下を想定しています。厚さが12mmを越える場合は、越えた分だけ長いねじを別途用意してください。

〔湿式壁の場合〕

- ALC板やコンクリートブロックの中空部には取り付けできません。
- 木ずり下地、ラスボード下地への取付けは乾式壁と同じようにあらかじめ壁裏に取付木（補強木）を入れ、必要なねじ込み深さを確保してください。

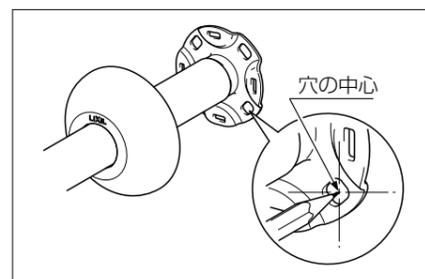
●施工前のご注意

- 施工には別売の施工部材をお使いください。
- 油などの汚れが付着した手で手すりを握らないでください。
※汚れが取れなくなる恐れがあります。
- フランジカバーをずらすときには、必ずまっすぐかつ、ゆっくりとずらしてください。
※被覆材にキズがつく恐れがあります。
- 手すりの取付位置は安全性に配慮し、現場で十分ご検討ください。

●施工方法

1. 手すりの取付位置決め

組み立てた手すりを壁・床にあて、現物合わせにて取付位置を決め、下穴位置をマークします。
※必ずフランジ取付穴の中心にマークしてください。手すりをしっかり固定できないことがあります。

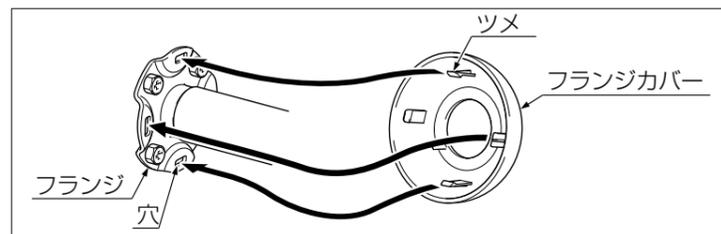


2. 手すりの固定

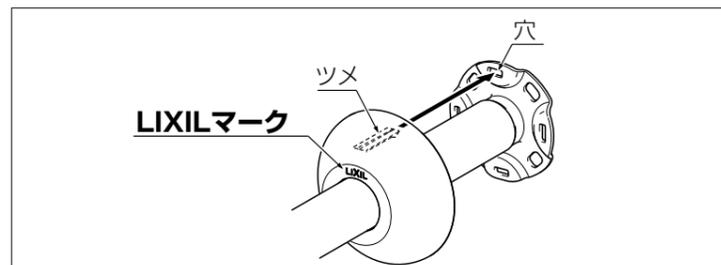
後述の「●固定方法」に従って手すりを壁・床に固定します。

3. フランジカバーの取付け

フランジカバー内側の4本のツメがフランジの穴に入る向きで、壁面に接するまで押し込んでください。

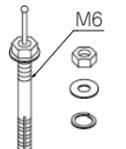
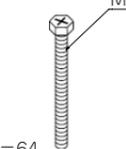
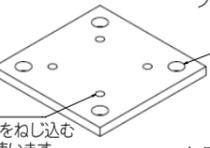
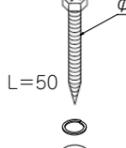
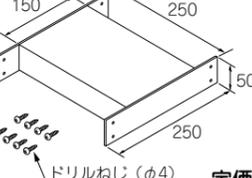
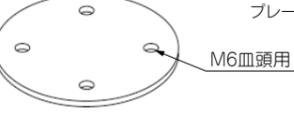
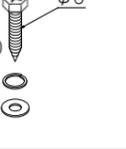
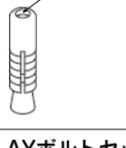
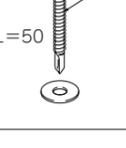


フランジカバーについているLIXILマークを参照して、ツメと穴の位置を合わせてください。



●固定方法

施工部材は別売です。壁の状況にあわせて選択し、別手配してください。

KF-D3(1P) あと施工アンカー(芯棒打込み式)セット  セット内容: あと施工アンカー(芯棒打込み式)(M6)1本 ナット(M6)1ヶ 平座金1ヶ パネ座金1ヶ 定価: ¥380(税抜)	KF-D4 ボルトナットセット  セット内容: ボルト(M6)4本 ナット(M6)4ヶ 平座金8ヶ パネ座金4ヶ 定価: ¥550(税抜)
KF-D12 取付プレート  セット内容: プレート1枚 ※KF-D3やAY-55FNで固定するときなどに使います。 定価: ¥900(税抜)	KF-D16 コーチネジセット  セット内容: コーチネジ(φ6)4本 平座金4ヶ パネ座金4ヶ 定価: ¥550(税抜)
KF-D20 軽量鉄骨用取付金具  セット内容: 取付金具1枚 ドリルねじ(φ4)8本 定価: ¥9,500(税抜)	KF-D23 はさみ込みプレート(パーテーション用)  セット内容: プレート1枚 M6皿頭用 定価: ¥3,500(税抜)
KF-D24 コーチネジセット  セット内容: コーチネジ(φ6)4本 平座金4ヶ パネ座金4ヶ 定価: ¥550(税抜)	KF-D30 中空壁用アンカーセット  セット内容: 中空壁用アンカー(M6)4本 ボルト(M6)4本 平座金4ヶ パネ座金4ヶ 定価: ¥2,800(税抜)
KF-D31(1P) あと施工アンカー(本体打込み式)セット  セット内容: あと施工アンカー(本体打込み式)(M6)1本 定価: ¥300(税抜)	KF-D45 ドリルねじセット  セット内容: ドリルねじ(φ5)4本 平座金4ヶ 定価: ¥650(税抜)
AY-55FN AYボルトセット  セット内容: AYボルト(M6)4本 定価: ¥1,800(税抜)	

【コンクリート下地】

(1) 取付プレート固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 1枚 • KF-D3(1P) 4セット 	<ul style="list-style-type: none"> • 寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+12mm) 4本 • ナット (M6) 4ヶ • 平座金 4ヶ

- ① 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがきます。あと施工アンカー(芯棒打込み式)の下穴をφ6.4mmのドリルで約50mmの深さにあけます。

注意 下穴に残った粉は必ずきれいに掃除してください。
※強度が低下する恐れがあります。

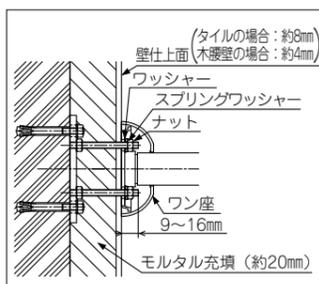
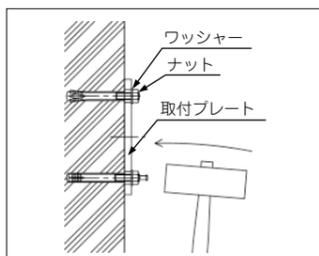
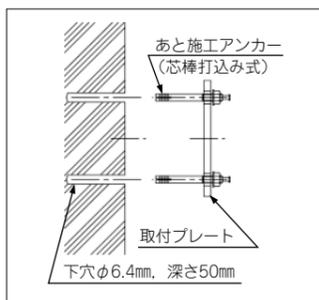
あと施工アンカー(芯棒打込み式)のナットをアンカーボルトの上端より2~3mmねじ込み、取付プレートの取付穴(外側の穴)に通して下穴に差し込んでください。

注意 あと施工アンカー(芯棒打込み式)は必ずコンクリート下地に30mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。

- ② あと施工アンカー(芯棒打込み式)の打ち込みピンをアンカーボルト上端に当たるまで打ち込んだ後、ナットを締め付けてください。

- ③ 取付プレートのボルト穴に寸切ボルトをねじ込み、ナットで締め込んでください。寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9~16mm出る長さが必要です。

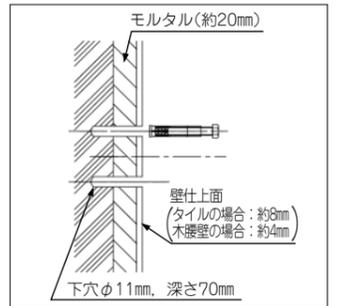
- ④ 壁を仕上げた後、フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



(2) AYボルト固定

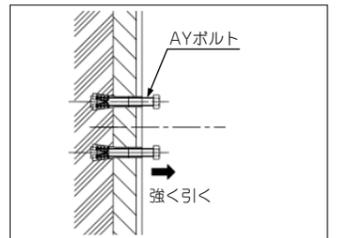
施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • AY-55FN 1セット 	(なし)

- ① 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置をけがき、ドリルで下穴をあけます。(下穴φ11mm、深さ70mm)

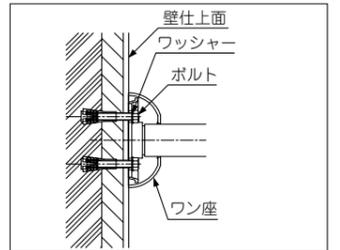


- ② AYボルトを差し込んで、下穴の入り口面でゴム筒の端を押さえ、ボルト部を強く引っ張ってボルトをしっかりと固定します。

注意 AYボルトはコンクリート下地に必ず30mm以上埋め込んでください。
※強度が低下する恐れがあります。



- ③ いったんボルトをはずして、手すりを取り付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

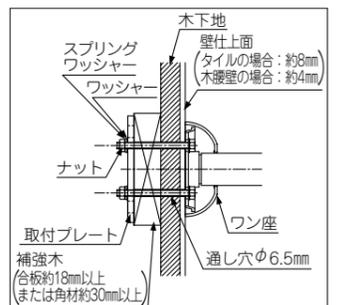


【木下地】

(1) はさみ込み固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 1枚 • KF-D4 1セット 	(なし)

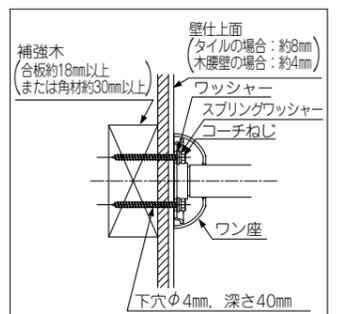
- ① 事前に手すり取付部に補強木を取り付けてください。
② 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、φ6.5mmのドリルでボルトの通し穴をあけます。ボルトをワッシャーとフランジの取付穴に通して、通し穴に差し込みます。
補強木: 合板18mm以上または角材30mm以上
③ 壁の裏側から取付プレートをあてて、スプリングワッシャー、ナットで強固に締め付けます。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。



(2) コーチネジ固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D16 1セット 	(なし)

- ① 事前に手すり取付部に補強木を取り付けてください。
② 手すり現物を壁にあてて手すりの取付位置を決め、内部の下穴をφ4mmのドリルであけます。
※仕上げがタイルの場合は、タイル部のみφ6.5mmの下穴をあけてください。
③ コーチネジにワッシャーを通し、フランジの取付穴より手すりを固定してください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。
補強木: 合板18mm以上または角材30mm以上

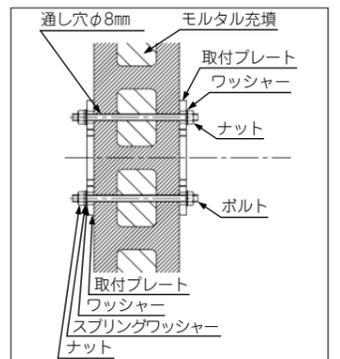


【コンクリートブロック下地】

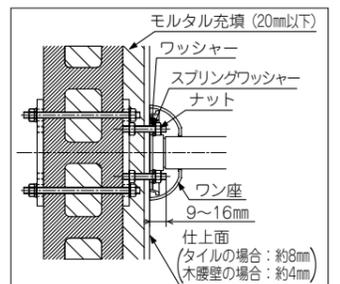
取付プレートはさみ込み固定

施工部材 (フランジ1ヶ所につき)	現場調達部材 (フランジ1ヶ所につき)
<ul style="list-style-type: none"> • KF-D12 2枚 	<ul style="list-style-type: none"> • 寸切ボルトM6×(モルタル厚+仕上厚+12mm) 4本 • 寸切ボルトM6×(ブロック厚+20mm) 4本 • パネ座金 8ヶ • ナット (M6) 16ヶ • 平座金 12ヶ

- ① 手すり現物を壁にあてて取付位置をけがきます。取付プレートの外側の穴に合わせて、φ8mmの通し穴をドリルであけてください。
寸切ボルト(現場調達)を通し穴に差し込み、ブロック両側に取付プレートをあてがって、両側よりナット、ワッシャーで締め付けてください。



- ② 手すり取付側の取付プレートのボルト穴(内側の穴)に寸切ボルト(現場調達)をねじ込み、ナットで締め付けてください。
寸切ボルトの長さは壁仕上げ面より9~16mm出る長さが必要です。



- ③ 壁を仕上げた後、フランジの取付穴にボルトを通し、ナット、ワッシャーで強固に締め付けてください。最後にワン座を仕上げ面に押しつけます。

(2) コーチねじ固定

※手すりの出寸法が120mm以下の場合のみ施工可能です。

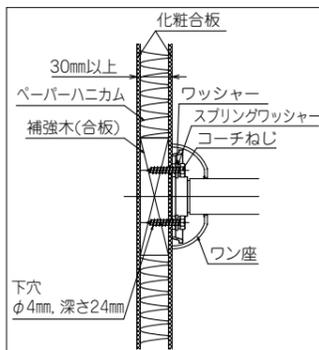
施工部材 (フランジ1ヶ所につき) ●KF-D24 1セット	現場調達部材 (フランジ1カ所につき) (なし)
-----------------------------------	-----------------------------

① 事前に手すりの取付位置に補強木(合板)を取り付けてあるパーティションをご用意ください。

注意 事前にパーティションに手すりを取り付けられる強度があるかご確認の上、施工してください。
※取付強度が足りない恐れがあります。

② 手すりの取付位置を決め、下穴をφ4mmのドリルであけてください。

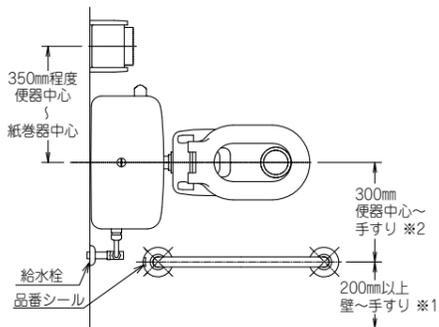
③ コーチねじにワッシャーを通し、フランジの取付穴より手すりを固定してください。
最後にワン座をパーティションに押しつけます。



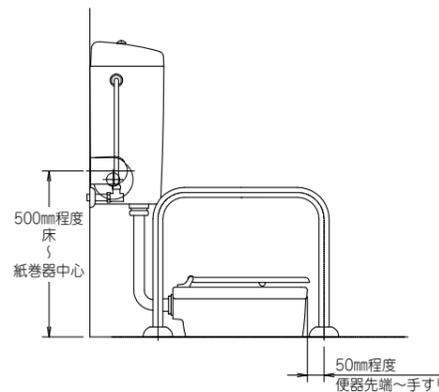
●取付位置

●1～2歳児向け 幼児用大便器(C-P141S、C-P141SM)の場合

紙巻器と幼児用大便器手すり：KF-AA131CE44

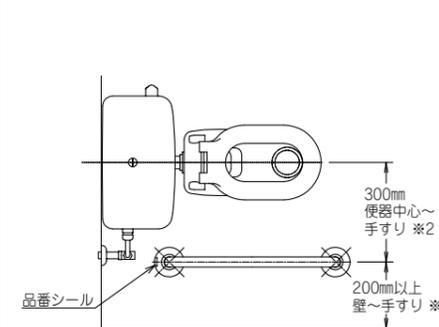


※1 200mm未満にしないでください。身体を挟まれてケガをする恐れがあります。
※2 290mm未満にしないでください。身体を挟まれてケガをする恐れがあります。
※3 紙巻器は大便器を中心に給水栓の反対側に取り付けてください。
(幼児用大便器手すり：KF-AA131CE44 の場合のみ。)

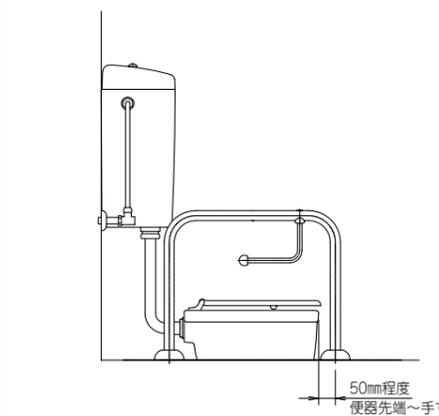


注意：寸法は参考値です。現場で十分ご検討ください。

幼児用大便器手すり(紙巻器付)：KF-AA131CEP44



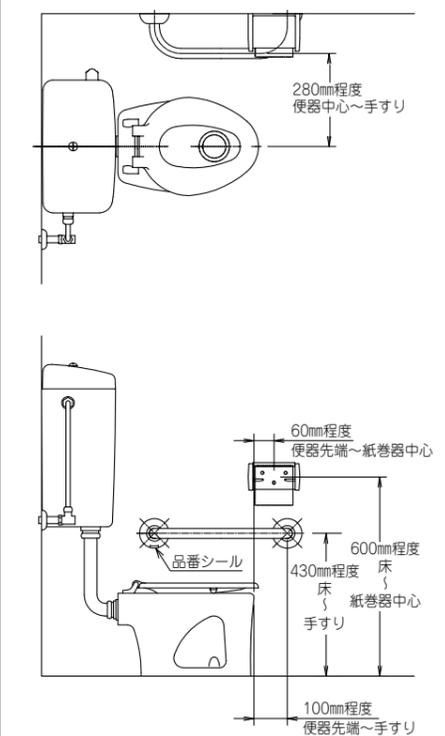
※1 200mm未満にしないでください。身体を挟まれてケガをする恐れがあります。
※2 290mm未満にしないでください。身体を挟まれてケガをする恐れがあります。



注意：寸法は参考値です。現場で十分ご検討ください。

●3～5歳児向け 幼児用大便器(C-P143S)の場合

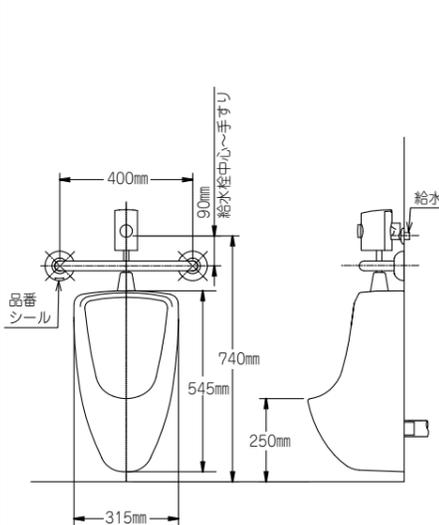
幼児用多用途手すり(I型)：KF-AA910CE40



注意：寸法は参考値です。現場で十分ご検討ください。

●幼児用小便器(U-401R、U-201M)の場合

幼児用多用途手すり(I型)：KF-AA910CE40



※4 図は、幼児用小便器：U-410Rの取り付け状態です。給水栓と手すりの位置関係は、幼児用小便器：U-201Mも同じです。
※5 自動洗浄システムなどのセンサー付き商品と手すりを組み合わせる場合には、センサーが手すりを感じないように取り付けてください。位置詳細はセンサー付き商品の説明書及び、住宅設備機器 設計・工事用図面集を参照してください。

※6 品番シール(手すりのフランジカバーに貼付)が上図の位置となるように手すりを取り付けてください。
※7 指定外の商品を取り付けると使いづらくなる恐れがあります。

取扱説明書

●ご使用上の注意／幼児用手すり

- 安全のために守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる場所に保管してください。
- ※この「●ご使用上の注意／幼児用手すり」に記載されていない使い方をされ、それが原因で破損や事故が生じた場合は、保証いたしかねますので十分ご注意ください。

⚠ 注意

1日1回以上、定期的到手すりを握って揺らしてみ、ガタつきや破損部位がないことを確認してください。 ※手すりの破損や脱落により、ケガをする恐れがあります。	指示実行
手すりがガタついたり、破損したままの使用はしないでください。 ※落下したり、破損部位でケガをする恐れがあります。	禁止
修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	分解禁止
手すり以外の用途に使用しないでください。 ※ケガをしたり、故障・破損の恐れがあります。	禁止
ぶら下がったり、上に登ったりなど手すり以外の用途に使わないでください。 ※手すりや取付部の壁が破損してケガをする恐れがあります。	禁止
硬いものをぶつけたり、強い衝撃をあてたりしないでください。 ※破損し、ケガをする恐れがあります。	禁止
清掃時、シンナー、ベンジン、酸性・アルカリ性洗剤は使用しないでください。 ※変質・変形し割れたり折れやすくなる恐れがあります。	禁止
大人は使用しないでください。 ※手すりの破損やケガをする恐れがあります。	禁止
ぬれた手や、せっけんのついた手で手すりを使用するときや、手すりがぬれていたり、せっけんがついているときは、十分に注意して使用してください。 ※手が滑り、重大事故につながる恐れがあります。	指示実行
幼児が使用する場合は、危険のないように必ず保護者が同伴してください。 ※使用者が手すりをつかみ損なうなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	指示実行
手すり及び、その他器具の間に頭など体が入り込まないように十分に注意して使用してください。 ※身体が挟まるなどにより、重大事故につながる恐れがあります。	指示実行

- 毛髪剤、化粧品や除光液がついた場合はすみやかにふき取ってください。
※変色や変形の恐れがあります。
- 色落ちするタオル等を掛けしないでください。
※色移りすることがあります。
- ハンドドライヤー等で熱を直接あてないでください。
※商品が変形、変色する恐れがあります。
- 室温が常に65℃以上となる場所では、使用しないでください。
※商品が変色する恐れがあります。

●お手入れ

- 汚れは、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。汚れがひどいときは薄めた中性洗剤をしみこませた布でふき、そのあとすぐ水拭きをし、乾いた布で拭き取ってください。
※特に尿などアンモニア類が付着したまま放置すると、変色や光沢が損なわれる恐れがあります。
- 商品を傷める恐れのある以下のものは使用しないでください。
 - クレンザー、磨き粉等の粒子を含んだ洗剤
 - 酸性洗剤、アルカリ性洗剤、塩素系漂白剤
 - ナイロンたわし、ブラシ等
 - シンナー、ベンジン等の溶剤
- 壁面のタイル等をカビ取り剤等で洗浄した場合は、すぐにタイルや商品を十分水洗いし、乾いた布で水分をふきとってください。
※商品を傷める恐れがあります。

●使い方・お手入れ方法等、商品についてのお問い合わせは

お客さま相談センターまで

TEL ☎0120-179-400

受付時間 平日 9:00～18:00

土日・祝日 9:00～17:00

FAX ☎0120-179-430

(ゴールデンウィーク、夏期、年末年始の休みは除く)

フリーダイヤルは、携帯電話、PHS、IP電話などご利用になれない場合がございます。

下記番号をご利用ください。

TEL 0562-40-4050 FAX 0562-40-4053

●修理のご依頼は

お求めの取扱店または

LIXIL修理受付センターまで

(ホームページアドレス <http://www.lixil.co.jp/support/>)

TEL ☎0120-179-411

受付時間 9:00～19:00 [365日受付]

FAX ☎0120-179-456